

令和6年度米海兵隊との実動訓練へのCV-22の参加について（口頭要請）

令和6年7月9日（火）に北関東防衛局から、「令和6年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン24）へのCV-22（×2機程度）の参加を計画している。レゾリュート・ドラゴン24に参加する横田飛行場のCV-22の要員は、米空軍が発表した「3段階のアプローチ」が完了するとともに、最新の整備要領及び安全手順を網羅した包括的な技術訓練を実施しており、必要な練度を回復した上で本訓練に参加する。」との情報提供がありました。

CV-22オスプレイについては、令和5年11月の墜落事故に係る事故調査が継続中かつ、より詳細な事故原因や安全対策、再発防止策の情報が十分提供されておらず、基地周辺住民の不安が解消されたとは言えません。

については、次のとおり要請します。

- 安全対策の徹底と事故防止に万全の措置を講ずること。
- 騒音が大幅に増加することがないように周辺住民に十分配慮すること。特に夜間及び土曜日・日曜日については、徹底すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

令和6年7月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	杉浦裕之

幹事 福生市長 加藤育男